



横浜市立大豆戸小学校

学校だより

令和8年6月30日

7月号



学校ホームページ

よりよい自分をつくる大豆戸の子
～なかよく かしく たくましく 笑顔いっぱい 大豆戸の子～

プロの姿から学ぶ

校長 八城 政徳



飯倉選手と谷村選手のサイン

今朝は門で挨拶をしていると、ワールドカップサッカーの日本代表がブラジルに負けてしまったことを悔しがっている子どもたちの声をたくさん耳にしました。私が子どもの頃は、日本代表がワールドカップに出ることが目標になっていましたが、今では優勝が目標になっていて、ブラジルにも勝てるのではないかと思えることに、改めて日本のサッカーの進化を感じた朝でした。

6月9日には7年ぶりとなるマリノススペシャルキャラバンとして、横浜F・マリノスの飯倉選手と谷村選手が来校され、3年生に身体を動かす楽しさを教えてくれました。テレビで見ている選手の姿を目の前で見ることができ、子どもたちにとっては夢のような時間となりました。本校では、生活科や総合的な学習の時間の中で、プリンスホテルの料理長さんや、けん玉のシニアチャンピオンの方、はまふうどコンシェルジュの方など、様々なプロの方と関わり、たくさんのお話を教えていただく機会を設けています。

日常生活ではなかなか出会うことができない、プロの方との触れ合いを通して、子どもたちには、その方たちの技術の素晴らしさを学ぶとともに、プロに至るまでの努力や子どもの頃から粘り強く取り組んできた道のり、そしてプロになった今感じている思いなど、それぞれが抱えている自分の夢をイメージしながら、実感を伴って学んでほしいと考えています。

今月から、昨年度も行った特技発表会が始まります。今年度は、先生からの発信ではなく、5年生の子どもたちが企画し、募集のためのポスターや応募用紙を入れるポストを手作りして取り組んでいます。特技発表会に参加することで、発表した子が自信を深め、それを見た周りの子どもたちがその子のよさを認めることでみんなが楽しい気持ちになると考え、全校児童のために自主的に取り組んでいる姿をみて、胸が熱くなりました。ご家庭や地域でも、子どもたちへの温かい声掛けをどうぞよろしくお願いいたします。